



# BUSINESS REPORT

**第49期通期事業報告書**

2022年7月1日～2023年6月30日



Business Report 2023

## 第49期通期事業報告書

## 経営理念

Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、顧客・株主・従業員・取引先・社会の、精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

## ジョイフル 店員の誓い

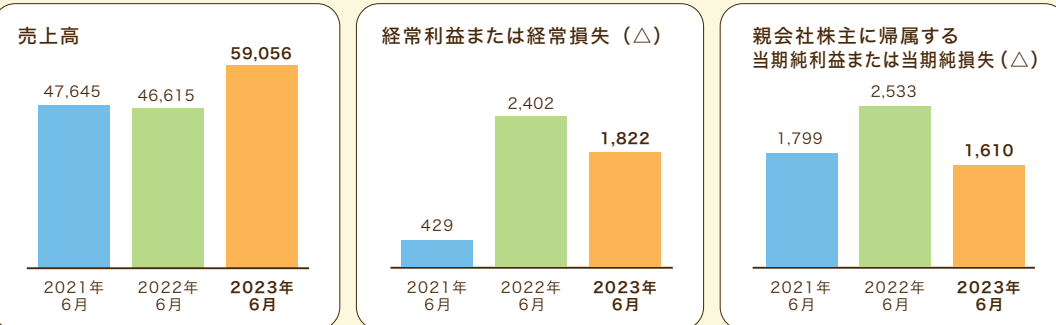
Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

## 連結業績ハイライト

Consolidated Results

(単位：百万円)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第49期（2023年6月期）の通期事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、社会活動の制限が緩和され、緩やかな回復の兆しがみられる状況となりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の進行、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響が収束傾向を示す一方、エネルギー価格や原材料価格の高騰など、引き続き大変厳しい経営環境が続いております。また、テイクアウトやデリバリー販売といった感染動向に左右されにくいビジネス展開に取り組む企業の増加など、外食業界をとりまく環境が大きく変化しております。

当社グループでも、このような非常事態に対処すべく、当面のコロナ禍において十分な資金調達を実施することで中長期的な財務基盤の安定化を図ることを目的として、コミットメントライン契約の再締結を実行しました。さらに今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売を強化するなど、子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を2回、フェアとして「ごちそうバラエティフェア」などのフェアを4回行いました。

グランドメニューの改定では、新たに、天津飯や餃子にこだわった中華メニューや「大豆ミートのタコライス」「ミックストーストサンド」など、新メニューが24品登場しました。また、テイクアウトメニューは21商品を新商品とし、大きく刷新しました。

さらに、コラボ商品第6弾として「ヒカル考案冗談抜きで旨い

コースかつカレー」を販売しております。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティ維持・向上を目的に作業チェックシートを見直してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として、2023年春&夏のグランドメニューの改定にあわせ、秋山竜次さん（ロバート）が「ジョイフル宣伝部長」に就任しました。2023年6月末からはコラボレーションした新TV CM「ジョイフル冷凍庫店長」の放送を開始しております。また、便利でお得なスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフル公式アプリ」は、「キッズメニュー半額クーポン」を年末年始およびゴールデンウィークに配布するなど、更なる充実を行いました。加えて、新たに2022年8月より社員独立フランチャイズ制度を開始いたしました。

当連結会計年度における店舗数は、グループ直営1店舗の出店、グループ直営からFCへの転換5店舗、グループ直営6店舗及びFC3店舗の退店により654店舗（グループ直営604店舗、FC50店舗）となりました。

当連結会計年度における経営成績は、売上高は59,056百万円（前期比26.7%増）、営業利益は1,709百万円（前期は営業損失3,104百万円）、経常利益は1,822百万円（前期比24.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,610百万円（前期比36.4%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

穴見くるみ



※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付とは異なります）

## 2023年6月期 主な取り組み

### アニメ「進撃の巨人」×ジョイフル コラボキャンペーンの実施

ジョイフルではお食事を通じてお客様に喜んでいただけるものを提供したいという想いから、アニメ「進撃の巨人」とのコラボキャンペーンを2023年4月11日から6月13日まで実施いたしました。

アニメをイメージしたメニュー5品の開発や、お食事時の満足度を向上させるオリジナルクリアファイルのプレゼント、さらにSNSと連動させたプレゼントキャンペーンなどオフライン・オンラインを問わない施策は、ニーズが多様化する社会におきまして、たくさんのお客様にご支持をいただきました。

今後もアニメやキャラクター等とのコラボ企画も視野にいれ、多くのお客様に愛される商品・サービスの開発に努めてまいります。



© 諫山創・講談社 / 「進撃の巨人」 The Final Season 製作委員会

## 社員独立フランチャイズ制度の開始

ジョイフルでは勤務する社員の新たな働き方の一つとして、自身が積み重ねた店舗経営ノウハウを活かして、希望地域で加盟店代表者として独立することができる社員独立フランチャイズ制度を2022年8月より開始いたしました。2023年6月30日現在で、5名（5店舗）が加盟店代表者として独立・開業しております。

社員独立フランチャイズ制度を実施することで、加盟店代表者からロイヤリティが支払われ、本部の安定的な経営が実現できるとともに、加盟店代表者は今までの店舗経営を活かしつつ、転勤のない希望地域で開業することが可能となります。また、もともと営業している店舗を使って開業を行うことで、精度の高い事業計画と本部からの全面バックアップのもとに営業に注力することができます。

今後約6年で当社店舗の約70%のフランチャイズ化を目指し、『店舗・本部の収益アップ＝加盟店代表者の収入アップ』を達成するという、新たな働き方の実現を加速させてまいります。

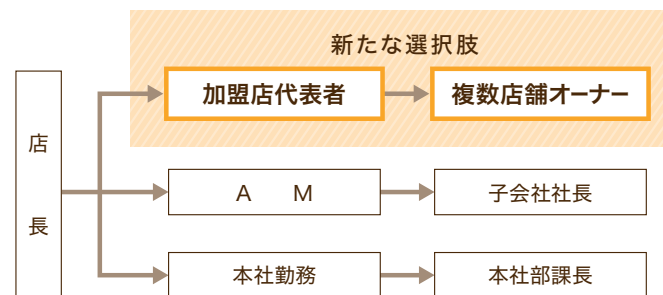


### フランチャイズシステムとは

フランチャイズとは、フランチャイズに加盟する人（加盟店代表者）がフランチャイズ本部（ジョイフル）から店舗・サービス・商品などを使う権利を得て、店舗の経営・運営を行うものです。

- 加盟店代表者と本部がビジネスパートナーとして一体となり、共同で収益を上げることで、双方に利益がある関係を築きます。
- 加盟店代表者は本部の全面バックアップを受け、収益向上に専念できることで収益の一部をロイヤリティとして本部に支払っていただくビジネスモデルとなります。

### ■社員の働き方イメージ





※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

## 2024年6月期 上期の主な取り組み

### 外部販売の拡大～「おうち de ジョイフル！」へリニューアル

「お店で食べるあの味をもっと気軽に」「お弁当や食事のおかず」というお客様の声にこたえるために、2016年から開始した家庭用冷凍食品は順調にラインアップ数を増やしています。

新商品の「うすぎり牛焼肉」「チキンステーキ」、ジョイフルの主力商品の「ジョイフルのハンバーグてりやきソースペッパー付き」を中心に、11種類の商品を展開しています。（2023年9月現在）

販路におきましても日本全国のスーパー様やドラッグス

トア様にお取り扱いいただき、また、ECでも販売させていただいており、多くのお客様にご家庭でジョイフルの味を楽しんでいただけております。

また、2023年夏季よりブランド力の向上を目的としたブランディングに取り組んでいます。商品コンセプトをより打ち出すためにパッケージデザインの変更、ロゴの制作を行いました。

引き続き外部販売による販路拡大を進めてまいります。



### スヌーピーデザインジョイフルオリジナルグッズキャンペーンの実施

ジョイフルでは初となるグッズ購入を起点としたキャンペーンを実施いたしました。連動企画として、SNSを活用したマーケティングや一部の店舗を特別店舗としてピーナッツの仲間たちを店舗内外に装飾しました。今後も様々な視点で新しい企画に挑戦して、新規顧客の獲得に取り組んでまいります。



© 2023 Peanuts Worldwide LLC

### SDGsへの取り組み

ジョイフルでは、持続可能な社会の実現への取り組みとして、大分市のフードバンク事業者「フードバンク東九州」様へ、従業員が家庭から持ち寄った食材を寄付いたしました。寄付した食材は、食べ物に困っている方や福祉施設に無償で提供されます。その他に、働きやすい職場環境づくりを推進することで、モチベーションの向上、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がると考え、2020年から健康経営実施における目標を定め、「健康増進、生活習慣病予防対策」「メンタルヘルス対策」などを進めた結果、2021年3月より毎年「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されております。

また、2018年に認定された「くるみん」は、子育てサポート企業としての実績が認められ、2023年も引き続き認定交付されました。継続して実施しているプラスチック製ストローの提供廃止、バイオマス材料を配合したテイクアウト用袋の導入などのサービスや事業活動を通じて、今後も環境保全と社会の発展のため、取り組みを進めてまいります。



### 子ども食堂事業への取り組み

ジョイフルでは社会貢献活動の一環として子ども食堂事業への協力を行っております。

子ども達に提供される食事に対して食材の提供を行うことによりフードロスの削減に努めるとともに、アフターコロナの時代を迎え、人と人の関わりが希薄になっている現在の社会において未来を担う子ども達に対して、地域の方々との共食の機会を提供することにより、豊かな人格育成、新たな地域コミュニティの構築などに取り組んでおります。



## 連結財務諸表

### Point

#### 資産の部

当連結会計年度末の総資産は29,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ476百万円の減少となりました。これは主に、機械装置及び運搬具の増加299百万円、工具、器具及び備品の増加266百万円、リース資産の増加265百万円、現金及び預金の減少1,900百万円によるものであります。

### Point

#### 純資産の部

当連結会計年度末における純資産は7,374百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,553百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,456百万円によるものであります。

### Point

#### 営業利益・経常利益

エネルギー価格や原材料価格が高騰した影響を受ける一方、売上高が増加したことにより、1,709百万円（前期は営業損失3,104百万円）の利益となりました。経常利益は営業利益が増加したことにより、1,822百万円の利益となりました。

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2022年6月30日）	当連結会計年度 （2023年6月30日）
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,150	5,580
固定資産	23,433	23,527
有形固定資産	18,627	18,848
無形固定資産	424	362
投資その他の資産	4,381	4,316
資産合計	29,584	29,107
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,103	9,356
固定負債	14,660	12,376
負債合計	23,763	21,733
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,703	7,182
資本金	100	100
資本剰余金	4,266	4,248
利益剰余金	2,950	4,406
自己株式	△ 1,613	△ 1,573
その他の包括利益累計額	51	124
純資産合計	5,820	7,374
負債純資産合計	29,584	29,107

### Point

#### 負債の部

当連結会計年度末の負債合計は21,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,030百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の増加416百万円、未払消費税等の増加570百万円、短期借入金の減少500百万円、長期借入金の減少2,497百万円によるものであります。

### Point

#### 売上高

新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、多様化する消費者ニーズに対応した商品施策の推進や、「お客様に繰り返しご利用いただける店作り」の観点から営業状態の向上に取り組んだ結果、前期比26.7%増加の59,056百万円となりました。

### Point

#### 親会社株主に帰属する当期純利益

減損損失による特別損失が発生したことにより、1,610百万円の利益となりました。

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

### 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 自 2021年7月1日 至 2022年6月30日	当連結会計年度 自 2022年7月1日 至 2023年6月30日
売上高	46,615	59,056
売上原価	14,905	19,854
売上総利益	31,709	39,202
販売費及び一般管理費	34,814	37,492
営業利益又は営業損失（△）	△ 3,104	1,709
営業外収益合計	5,789	358
営業外費用合計	281	245
経常利益	2,402	1,822
特別損失	113	196
減損損失	113	196
法人税等	△ 212	78
法人税、住民税及び事業税	763	116
法人税等調整額	△ 976	△ 38
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	2,533	1,610

### 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 自 2021年7月1日 至 2022年6月30日	当連結会計年度 自 2022年7月1日 至 2023年6月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	5,571	3,625
投資活動による キャッシュ・フロー	152	△ 1,302
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,946	△ 3,526
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	790	△ 1,196
現金及び現金同等物の 期首残高	2,611	3,401
現金及び現金同等物の 期末残高	3,401	2,204

### Point

#### 投資活動による キャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは前期比1,455百万円減少して△1,302百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出△1,411百万円、敷金及び保証金の差入による支出△28百万円、敷金及び保証金の回収による収入110百万円であります。

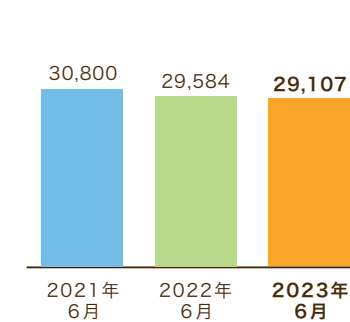
### Point

#### 財務活動による キャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは前期比1,420百万円増加して△3,526百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、短期借入金の純増減額△500百万円、長期借入金の返済による支出△2,827百万円、配当金の支払額△153百万円であります。

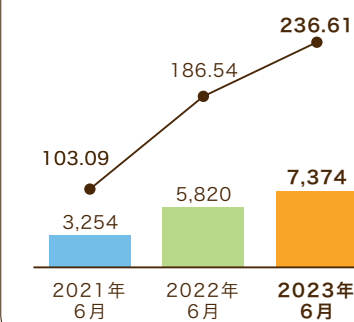
### 総資産

（単位：百万円）



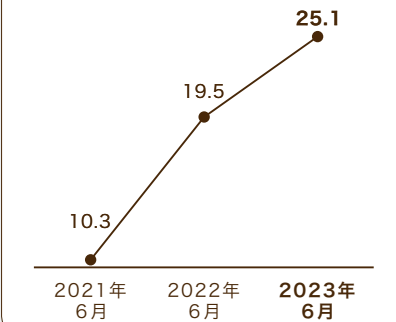
### 純資産

□ 純資産（単位：百万円）  
● 1株当たり純資産（単位：円）



### 自己資本比率

（単位：%）



## 株式情報

### 株式の状況

発行可能株式総数  
**120,000,000株**

発行済株式総数  
**31,931,900株**

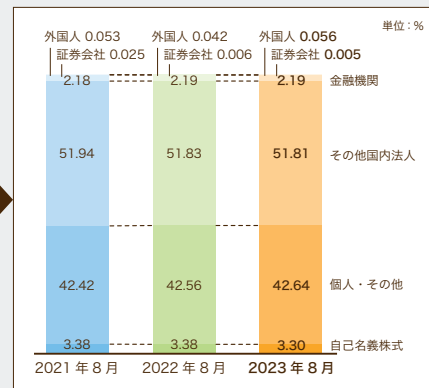
株主数  
**15,640名**

#### 株式の所有者別状況

	2021年8月31日現在		2022年8月31日現在		2023年8月31日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	8	8,130	7	2,050	9	1,867
外国人	19	17,100	18	13,700	20	18,079
金融機関	5	697,686	5	698,286	5	697,786
その他国内法人	96	16,584,970	94	16,548,710	87	16,545,210
個人・その他	15,080	13,544,732	15,425	13,589,872	15,518	13,616,476
自己名義株式	1	1,079,282	1	1,079,282	1	1,052,482
合計	15,209	31,931,900	15,550	31,931,900	15,640	31,931,900

※基準日時点の株主名簿に基づき記載しております。

#### 株式の所有者別構成比率の推移



### 株主メモ

**事業年度** 毎年7月1日から6月30日  
**定時株主総会** 毎年11月  
**基準日** 定時株主総会の議決権／毎年8月31日  
 期末配当金／毎年8月31日  
 中間配当金／毎年2月末（中間配当を実施する場合）

**単元株式数** 100株  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)  
**特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)  
**郵便物送付先** 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部  
**(電話照会先)** TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店および全国各地支店で行っております。

**公告の方法** 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
**公告掲載URL** <http://www.joyfull.co.jp/>  
**上場取引所** 福岡証券取引所

◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
 株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

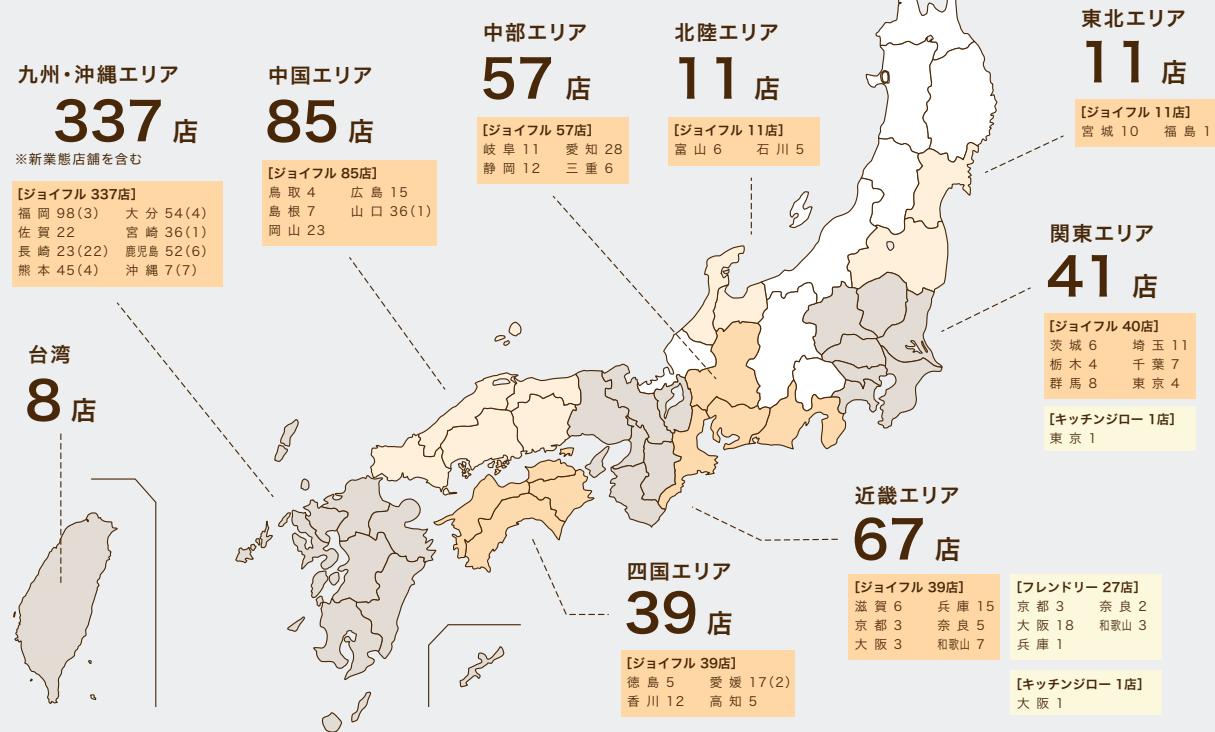
◎株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ  
 お取引の証券会社または三井住友信託銀行(株)へお問い合わせ願います。  
 専用コールセンター 0120-533-600 受付時間：9:00～17:00  
 (土・日・祝日および12/31～1/3を除く)

## 会社情報・店舗情報

### グループ店舗一覧 (2023年6月30日現在)

**656** 店

うちFC店舗50店舗 ※( )内はFC店舗  
 ※新業態・台湾含む



### 会社概要 (2023年6月30日現在)

<b>創業</b> 1965年6月	<b>資本金</b> 1億円	<b>連結子会社</b> 株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社フレンドリー/株式会社キッチンジロー/台湾珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス/株式会社ジョイナス/株式会社ジョイフル商事
<b>創立</b> 1976年5月	<b>主な事業内容</b> 「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開	
<b>社名</b> 株式会社ジョイフル		
<b>大分本社</b> 大分県大分市三川新町1丁目1番45号		
<b>福岡工場・配送センター</b> 福岡県築上郡築上町日奈古186番1号		
<b>熊本工場・配送センター</b> 熊本県菊池市架梁尾宇下大迫445番4号		
<b>愛知工場</b> 愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号		